

極彩色の〝仏画の世界〟

来月30日まで
上原仏教美術館 写仏教室の作品展



色鮮やかな仏画が並んだ写仏教室作品展＝下田市、上原仏教美術館で

市、川崎市などから通う三十五人が学び、十五人近い継続受講者や、九十二歳の女性も、新人は三人。写仏は、大人の塗り絵とも言えるもので、山梨県在住の仏画家・安達厚玄氏の下絵を用い、転写紙(チヤコペーパー)して和紙や色紙にお手本の絵を転写。これに白絵の具で美しい着色をほどこし、完成させ

下 田

音の十四歳海が、聖観音は前身の立像、半像(さそう)、上半身のみ胸

備、扉絵のみのアップと、多彩な作品がそろった。このほか飛天、女性の守護仏である女性的な如來輪廓畫、馬頭觀音、不動明王の脇侍(わきざし)の制吒迦童子(せいたかどうし)、白衣觀音、十一面觀音など、多様な仏さまの姿も展示。極彩色で美麗な仏画の世界を楽しめる。

同展は九月二十日まで、午前九時～午後五時(入館は四時半まで)。平糶館の入館料(大人三百円、子供二百円)で入館できる。問い合わせは同美術館(電話05558(28)1216)へ。

下田市土金の上原仏教美術館で、同館の写仏教室が講師の作品展が開かれている。今年で二十回。写仏教室は同館で毎月第四金曜日に開講。尾藤政昭氏(千葉県)、山田正枝氏(東京都)の両講師は阿弥陀如来(あみだに

今回は三十五点を出品作品のほとんどは阿弥陀如来(あみだに